

「八潮市新型インフルエンザ等対策行動計画(素案)」に対するご意見と市の考え方

1 意見募集期間

令和7年11月10日(月)から令和7年12月10日(水)まで(31日間)

2 意見提出者数・件数

提出者数 1人 件数 3件

3 意見と市の考え方

- 反映の区分 A : 意見を反映し、案を修正する(した)  
 B : すでに案で対応している  
 C : 案の修正はしないが、実施段階で参考としていく  
 D : 意見を反映できなかった(しない)  
 E : その他

意見番号	素案のページ	ご意見の要旨	市の対応・考え方	反映区分
1	全体	<p>・ワクチンについて</p> <p>私は読売テレビの番組「そこまで言って委員会NP」6月8日の放送回で感染症対策を行っていた尾身茂氏がコロナパンデミックを振り返ってワクチンに対して「感染防止効果、感染を防ぐ効果は残念ながらあまりないワクチンです」と発言していたのを聞きました。また私の知り合いでもワクチンを打ったにも関わらず感染した人が多数いました。ワクチンを感染症対策の主要なものにして推進するのは愚かな事だとしか言いようがないと思います。しかもコロナワクチンに関しては副反応による多くの被害者が出ており被害者が国に対して損害賠償を求める裁判を起こしている状況を鑑みて行政がワクチンを推し進める事に反対します。</p>	<p>市が実施する予防接種事業は、国が定める予防接種法に基づき実施しています。</p> <p>市は法令に従い、希望される方が適切に予防接種を受けられるよう、接種体制の整備や必要な情報提供を行っているものであり、接種を強制するものではありません。</p>	E

2	全体	<p>・コロナパンデミック時の感染症対策について</p> <p>コロナのパンデミックの間に行われていた対策（マスク、行動制限、ワクチン等）についてどれが有効であったのか、もしくは効果がなかったのか検証が行われていない現状で作成された行動計画は無意味であると思います。多くの医師が「マスク、ワクチンについては効果がない」と発言しているのを本、記事、SNS等で見かけました。行動制限に関して検証は難しいと思うが個人的には経済を混乱させるだけであったように思います。この行動計画は過去の経験を踏まえてもう一度必要かどうかも含めて見直して欲しい。</p>	<p>本計画は、新型インフルエンザ等対策特別措置法第8条において、市町村が作成することとされている計画です。この計画は、過去の対策をそのまま踏襲するものではなく、将来発生が想定される新たな感染症危機への備えとして、平時から体制を整備することで様々な状況に対応できるように定めています。</p>	E
3	全体	<p>・誤情報について</p> <p>1で記載したようにパンデミックの初期には「ワクチンは感染防止に効果がある」とされていましたが現在の認識では感染防止効果はほぼないと思われます。この結果から見てもワクチンを推奨している側の意見の方が誤情報であると言わざるを得ないのではないのでしょうか？またこのような新しい事象が起こった時、私自身は片方だけの意見を聞くよりも多くの意見を聞いた方がよりよい選択ができると思っています。政府や一部の専門家と異なる意見を行政の権限を使って強制的に排除するような事は止めていただきたいと思います。</p>	<p>ご意見につきましては、本計画の範囲外です。</p>	E